

八百津町 全地区

令和6年度

【地域の概要】

- 約128.8km²の広さがあり、その80%山という中山間地域にある町。
- 人口は約1万人であり、65歳以上の人口は2020年で40%を超えている。
- こうした状況の中、町内各家庭に防災行政無線タブレット端末を設置し、各種情報発信を行っているが、電子機器に弱い方は情報を見落としがちかも・・・

①取組開始前の状況や課題

委員会の仕事とは

- 委員の意識が、総会での審議や農地の現地調査、意向調査等に縛られがち・・・
- もっと幅広い情報を得て、担い手との繋がりを持つべきでは・・・
- 農業新聞やTVでは得られ辛い、地元（ローカル）な情報を学ぶ必要も・・・
- 町民が得するような情報も得て、地元へ還元したい・・・

②総会終了後の「委員勉強会」開催

総会終了後、委員、JA職員、地域おこし協力隊、農業会議、役場職員が講師（話し手）となり、勉強会を開催！例えば・・・

「若手農業者グループの活動状況」 講師：JA営農経済センター職員

★委員や地元の方が、担い手の堆肥作りをサポートするきっかけに

「地域おこし協力隊の紹介と活動」 講師：地域おこし協力隊

★地域おこし協力隊の事業にお米を提供、地域住民へ協力隊の活動をお知らせ

「農協の統合と新店舗」 講師：JAめぐみの支店長

★地域住民へ鮮度の良い情報をお届け

「栗の補助金」

★新規で補助を受ける人が増加！

③今後の展開と方向性

より深く、より幅広い内容の勉強会に！

○非常勤の特別公務員として、より深く、より広い知識を得て、地元住民へ還元していく。

若手農家と地域住民の架け橋に

○若手農家の活動を知り、委員自らサポートを行うと共に、地域住民に対し適切な情報発信を行うことで、地域住民が若手農家の活動を知るきっかけを作る。



委員の所有する施設で独自の堆肥作りを行う若手農業者